

上越三和道路 清水田遺跡 現地説明会資料

平成 25 年 8 月 3 日 (土)

No.

国土交通省 高田河川国道事務所
新潟県教育庁 文化行政課
財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

1 遺跡の概要

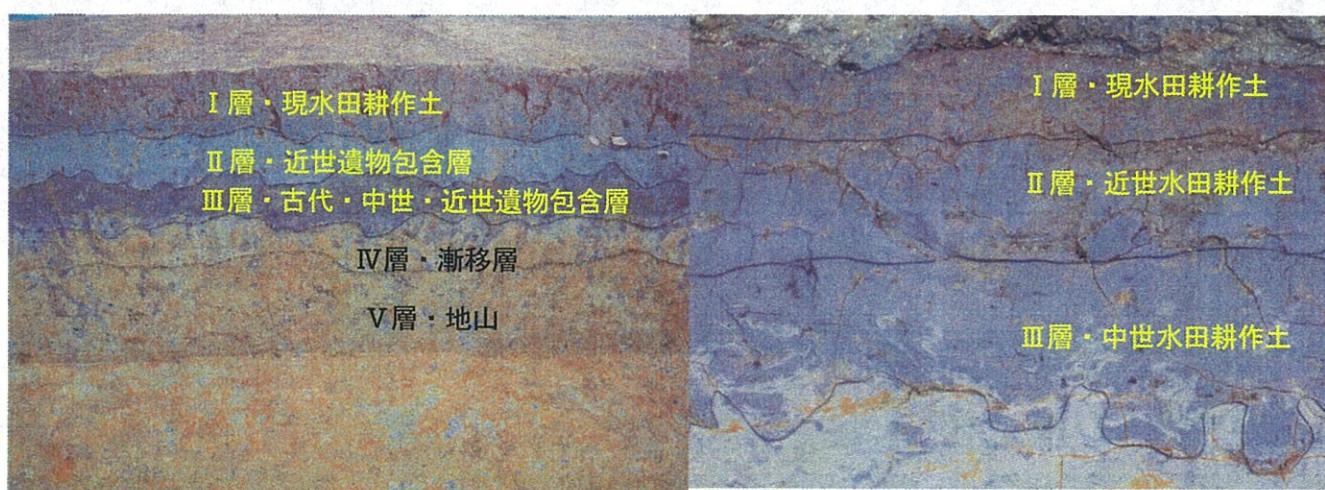
清水田遺跡は、上越市鶴町字清水田 503 ほかに所在します。国道 253 号上越三和道路事業に伴い、平成 25 年 4 月から 9 月まで発掘調査を行う予定です。調査面積は 3,600 m² です。平成 15 年に行った試掘調査で新しく発見した遺跡です。遺跡は高田平野の中央部、飯田川左岸の沖積地に立地します。遺跡の標高はおよそ 12.5m です。遺跡の 100m 東には下割遺跡が所在します。



遺跡位置図 (1 : 25,000)

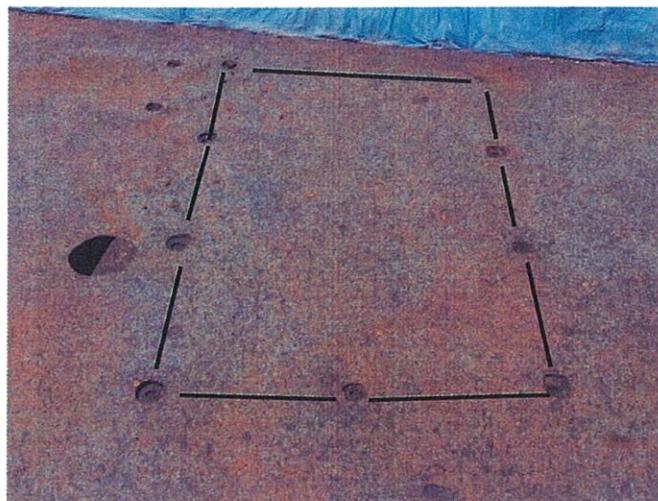
2 基本層序

I 層は黒褐色粘土で現水田耕作土作土です。II 層は青灰色粘土で近世以降の遺物包含層と水田耕作土です。III 層が黒褐色粘土で平安時代・中世・近世までの遺物包含層と水田耕作土です。中心は中世で室町時代の 15 世紀代です。集落と周囲に水田を検出しました。水田の範囲の III 層下部には耕作による搅拌の痕跡が著しく残っています。

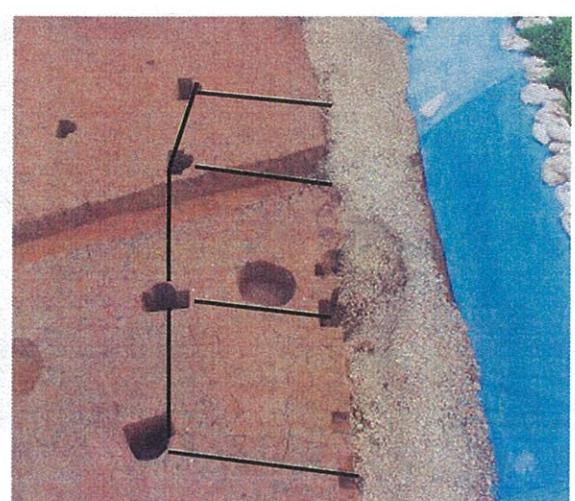


集落域基本層序 南から

水田域基本層序 西から



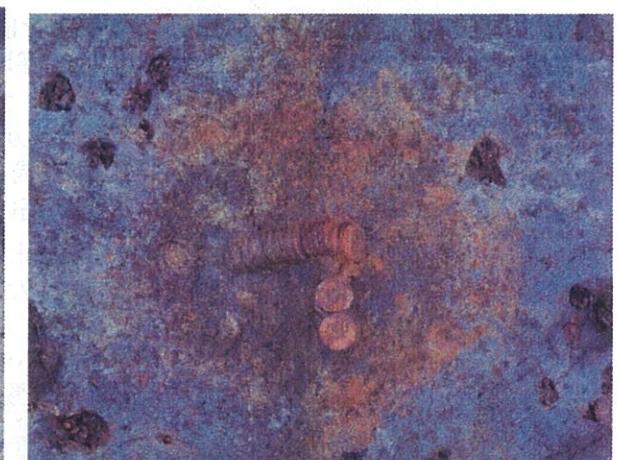
掘立柱建物 302 号 (2間×3間) 北から



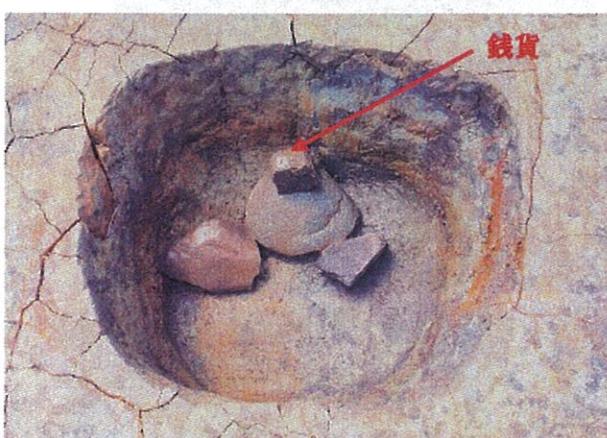
掘立柱建物 08 号 総柱建物か 北から



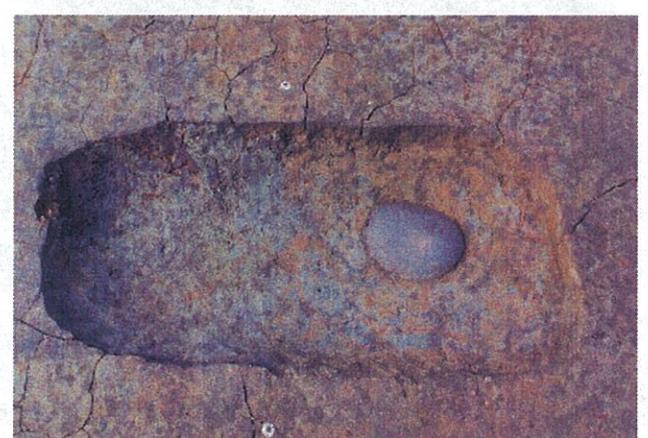
井戸 308 号 柄杓出土状況 東から



柱穴 370 号 錢貨出土状況 北から



土坑 15 号 錢貨・礫出土状況 北から



土坑 317 号 珠洲焼壺出土状況 南から